

AIRDO・ソラシドエアの共同持株会社 『株式会社リージョナルプラスウイングス』設立について

～ 設立記念セレモニーを羽田空港で開催しました ～

“北海道の翼” AIRDO と“九州・沖縄の翼” ソラシドエアは、2022 年 10 月 3 日(月)、共同持株会社となる株式会社リージョナルプラスウイングス(本社:東京都大田区 代表取締役社長:高橋 宏輔)を設立しましたのでお知らせいたします。



■ 会社概要

設 立	2022 年 10 月 3 日
本社所在地	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 第1旅客ターミナルビル
代 表 者	代表取締役会長 草野 晋 (株式会社AIRDO 代表取締役社長) 代表取締役社長 高橋 宏輔 (株式会社ソラシドエア 代表取締役社長)
資 本 金	1 億円
Web サイト	https://www.regionalplus.co.jp/

■ 代表者コメント

代表取締役会長 草野 晋 (くさの すすむ)

本日、AIRDO とソラシドエアの共同持株会社であるリージョナルプラスウイングスが設立され、両社はひとつのグループになりました。昨年5月の基本合意から準備を進め、今日を迎えられましたことを大変嬉しく思います。このリージョナルプラスウイングスの設立を通じて、両社が新しい事業環境を生き抜き、お客様により一層快適な空の旅を提供できるよう努めていきたいと考えています。

代表取締役社長 高橋 宏輔 (たかはし こうすけ)

「地元の翼」であることを存在意義としている南北の翼が連合する新たなエアライングループがスタートします。今後もそれぞれ地元本社を置く独立した航空会社として運営していきませんが、地域に根差した2つの翼が互いの強みを持ち寄り、「協業」効果と地域との「共創」により、北海道、九州・沖縄の発展に貢献していきます。

■ 記念セレモニー

(株)リージョナルプラスウイングスの設立を記念して、AIRDO・ソラシドエア両社のハブ空港の1つである羽田空港にて、次の通り記念セレモニーを執り行いました。



日 時	2022年10月3日(月) 13:00 ~ 13:30			
場 所	羽田空港第2ターミナル 出発ロビー内 54番・55番搭乗口付近			
実施内容	代表取締役ご挨拶, 記念品配付, 下記出発便のお見送り			
対 象 便	・AIRDO 25便 [13:50 東京(羽田)発 → 15:25 札幌(新千歳)着] ・ソラシドエア 23便 [14:00 東京(羽田)発 → 16:45 沖縄(那覇)着]			
配付記念品	対象	共同持株会社 記念品	機内誌	各社オリジナルグッズ
	AIRDO 25便 ご搭乗のお客様	リージョナル プラスウイングス	ソラシドエア機内誌 「ソラタネ」2022年10月号	ソラシドエア オリジナル カトラリーセット
	ソラシドエア23便 ご搭乗のお客様	オリジナルポーチ	AIRDO機内誌 「rapora」2022年10月号	AIRDO オリジナル カトラリーセット
※ 上述の各社便機内では各社本来の機内誌も閲覧可				

以上

(ご参考)

■ 設立の背景

両社は、「北海道の翼」、「九州・沖縄の翼」として地域社会への貢献を理念に掲げ、地域に根差した航空会社として独自のブランドと航空運送事業を通じ、今日まで多くのお客様とともに成長・発展を遂げてまいりました。

このような中、両社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による将来の不確実性、働き方や暮らしの多様化、デジタル技術の進展によるお客様の価値観の変容やマーケットの変化による航空需要への影響、地域・環境が抱える普遍的な課題への対応などに直面しており、両社の事業展開もその対応に向けた大きな変革が求められます。

両社の毀損した財務基盤を早期に回復させ再生復活を果たし、また新たな事業環境を生き抜いて、お客様への一層の付加価値提供および持続的な成長を果たす上では、共同持株会社の設立を通じて、両社が有する経営資源(人財・技術・施設等)を効率的に活用し、スケールメリットを最大限発揮させることが最良な選択であるとの結論のもと、この度、新たなグループが誕生しました。

■ 経営理念

地域をつなぐエアライングループとして、安心な旅と新たな価値の提供を通じて、地域社会の発展に貢献します

安 全	安全は経営の基盤であり、絶対的的使命として追求します
地 域	地域とともに成長するグループを目指し、地域社会の発展に貢献します
価値提供	グループ各社のブランドと航空ネットワークを活用し、新たな需要および価値を創出します
社会貢献	社会・環境課題へ取り組み、持続的な社会の実現に貢献します
経営基盤	グループの経営資源を最大限活用し、業務共通化や知見共有等を通じて経営基盤を強化します
社員・風土	グループ全社員が最大の財産であり、個性と多様性を認め合い、相互に信頼し磨き合える組織風土を作ります

■ 組織図

